

春の忍ヶ丘祭

春の忍ヶ丘祭実行委員長
現代ビジネス科2年
興梠 愛久美



今年はひなた武道館で春の忍ヶ丘祭を開催させていただきました。当初予定していた場所が使用できなくなり、場所を探すところから始まりました。新体制ということもあり、中々思うように進まず仲間とぶつかることもありましたが、今回は通し報連相の大切さを実感することができ、それは今後のイベントのよりよい企画・運営に繋がっていくと思っています。そして、迎えた当日では予想外のハプニングが多く、無事に終了するはずとドキドキでした。しかし、皆さんが笑顔で楽しんでいる様子を見て、心の底からホッとしました。本当にありがとうございました。

夏の忍ヶ丘祭

夏の忍ヶ丘祭実行委員長
現代ビジネス科2年
石黒 美羽



実行委員長、副委員長共に後期からの活動だった為前期メンバーに教えてもらいながら資料を作り、計画を立てました。今年は学友会が中心となり模擬店を実施しました。新しく学友会に入ったばかりの1年生とのコミュニケーションも意識しながら、話し合いを重ね試行錯誤しました。準備から当日までスムーズにいかないことがありましたが、多くのサポートがあり夏の忍ヶ丘祭を実施することができました。当日参加された学生や先生方が、美味しく食べている姿、笑っている姿が見られて安心しました。学友会の皆、夏忍委員、代議員、そして先生方ありがとうございました。

現在の就職状況

キャリア教育センター

本年度の就職状況は、企業の積極的な採用を受け、売り手市場となっております。県内においても、8月末時点で本年度の採用計画を充足した企業は全体の10%、残りの企業で採用予定人数の50%確保できた企業が35%、残りの65%の企業が50%を満たしていない状況です。

現代ビジネス科の学生は、3月から始まり就職活動が長期戦になっていますが、順調に内定を頂いております。国立病院・金融機関を始め多数の企業から内定を頂いております。また、複数の企業から内定を頂いている数名の学生もいます。前述しましたように、採用予定数を充足していない多くの企業が募集していますので、全員が内定するよう継続して指導してまいります。

保育科・専攻科の学生については、求人票の情報だけで判断せず、夏休休暇中に希望する園での実習を行い、総合的に判断し、採用試験を受けるよう指導しておりますので、10月以降の内定ということになると思います。

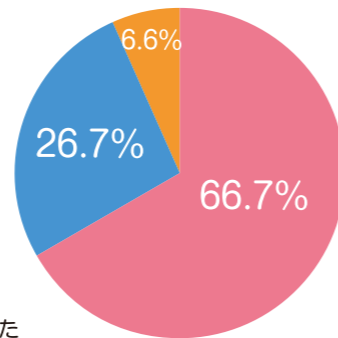
今後、全員の採用決定に向け、邁進してまいりますので、ご家庭でも学生へのサポートをよろしくお願いいたします。

保護者会について

学生部

本年度も令和6年6月1日(土)、本学に在学する全ての学生を対象に、後援会総会、並びに保護者会を開催いたしました。また、学級主任との面談も実施させていただき、保護者の皆様と直接お話しすることができ、多くのお声をいただきました。アンケートにも「有意義であった」との回答が寄せられています。ご参加ありがとうございました。

- 大変有意義であった
- 有意義であった
- どちらとも言えない
- 有意義ではなかった
- 全く有意義ではなかった



令和6年度後援会役員一覧

| 役職名 | 氏名 | 学科/学年 | 役職名 | 氏名 | 学科/学年 | 役職名 | 氏名 | 学科/学年 |
|-----|--------|-----------|-----|-------|----------|-----|--------|-----------|
| 会長 | 武田 幸一 | 保育科1年 | 理事 | 後藤 祐子 | 保育科長 | 会計 | 平山 和子 | 保育科2年 |
| 副会長 | 上田 晶子 | 保育科2年 | 理事 | 黒野 伸子 | 現代ビジネス科長 | 会計 | 藪部 初 | 総務部次長 |
| 副会長 | 木村 匡登 | 学生部長 | 理事 | 井上 浩義 | 教務部長 | 監査 | 森 保博 | 現代ビジネス科2年 |
| 顧問 | 村上 昇 | 学長 | 理事 | 湯地 寿 | 事務局長 | 監査 | 米丸 朱美 | 保育科2年 |
| 理事 | 松永 喜代美 | 現代ビジネス科1年 | 理事 | 山田 秀人 | 入試広報部長 | 書記 | 佐々木 敦子 | 保育科1年 |
| 理事 | 野崎 亮 | 専攻科 | | | | 書記 | 西川 真由美 | 保育科1年 |



後援会だより



困難を乗り越える力

後援会会長 武田 幸一



令和6年度後援会会長を務めます武田です。よろしくお願いいたします。

8月の日向灘地震、台風10号の被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。本学OGの多くが県内の保育園などに勤務されており、日向灘地震の際、園児の避難や保護者引き渡しなど日頃の訓練が生かされたことを伺いました。皆様も、持出品や避難先などを、ご家族と事前に確認されてください。

さて、令和5年4月に新型コロナの取扱が変更し、1年半が過ぎました。社会活動もコロナ禍前と同じ状況に近づいたように感じられるようになりました。学生の多くが、高校時代にコロナ禍で様々な制約を受けていた年代です。今は、マスクの無い生活や学習に向き合える喜びを感じているでしょう。日々の学びを通じて豊かな心と確かな技術を身につけ、次世代を担う人材として活躍して欲しいです。また、「歴史と実績のミヤタン」も、時代のニーズに合わせて変化しています。令和6年度から保育科に3年間の課程が始まり、令和7年度より現代ビジネス科に新たなコースが設けられます。

後援会としましては、学生の学びや本学の取組をサポートし、すべての学生が夢を実現できるよう支援したいと考えております。会員の皆様には、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学長挨拶

学長 村上 昇



先日、関西のある大学の創立100周年記念式典に出席した際に、私立大学協会の方から「宮崎学園短期大学は頑張っていますね」と言われました。今年、本学保育科に3年制コースが発足し43名が入学しました。来年(令和7年)4月には、保育科にキッズビジネスコースができ、さらに現代ビジネス科には8つのコースが新設されます。文部科学省のSPARC事業(地域人材活性化事業)や世界展開力強化事業に参加している本学は、全国唯一の短大ですから、外から見ると、本学が頑張っている様に見えるのかも知れません。大学教育機関は社会のニーズや社会情勢の変化に応じて、改革(改組)するのは当然で10~12年で改組するのが好ましいというお話を文部科学省の方から以前頂いたことを記憶しています。改組をやる上で、私がいつも心にとめておく言葉があり、それは「失敗を恐れるよりも、真剣でないことを恐れない」と言う故松下山幸之助氏の教えです。他大学の状況、社会や地域の状況(需要度など)、文部科学省の考え方、高校生の動向等様々な観点からの調査や洞察が必要となり、これで失敗したら仕方が無い状況まで自分を追い込みます。このような姿勢は、きっと人生で何度となく必要になるものと感じており、学生にも、本学の教育を通して涵養して行きたいと思っています。

輝ける忍ヶ丘(学生の成長)

保育科

実習に臨むにあたって

11月に教育実習に行きます。学校で学んだ知識やこれまでの実習で学んだ体験を活かせる良い機会だと思います。自分が学んできたことがどれほど実践できるかわかりませんが、これからご指導いただく先生方や子どもたちと多くの事を経験させていただきたいです。実習をする中で分からないことが出てくると思います。その際には積極的に質問をして吸収していきたいです。不安なことも多いですが、実際に保育現場の雰囲気を見学できる貴重な機会なので、今の自分に出来ることを精一杯頑張りたいと思います。この教育実習を通して魅力ある先生とはどのような人かを考え、子供達からまた会いたいと思われるような関係を築きたいです。実際の保育現場で多くの事を吸収し、充実した実習にできるよう頑張ります。



保育科1年
大野 二葉

施設実習を終えて

私は、生活介護支援施設さすもすで実習をさせて頂きました。この実習では成人から高齢の方まで幅広く関わることができ、様々な余暇活動を通して、職員と利用者の信頼関係を築いているんだと学ぶことができました。私はこの実習を通して、利用者一人ひとりの障がいの特徴や自分の中のルールがあること、余暇活動でのルーティンなどその利用者について理解することで、個々に応じた対応、援助の仕方ができることを学びました。私は将来、保育施設に入園する障がい児の支援、保護者の子育て支援に役立てる保育者になりたいです。そのためにも発達障害児支援士の資格取得はもちろん、障がい児についての知識を高め、保育施設で安心して、自分らしく過ごせるようにする為の様々な支援を行えるように今までの経験から学びに繋げていきたいです。



保育科2年
原田 理恋

医療機関実習IIに向けて

2月の医療機関実習Iでは、座学で学ぶことのできない経験をたくさんさせていただきました。特に「患者様への対応の難しさ」「医療用語に対する知識不足」を体感しました。実習先は日南市立中部病院でしたが、患者様は高齢者の方が多いということに加え、外国人の方も多く、対応に戸惑うこともありました。また、他職種スタッフとの関わりが想像以上に多く、専門用語での情報共有が必要でした。9月の医療機関実習IIでは次のように前回の反省を生かしたいと思います。「外国人の患者様に対しては来院の目的など決めつけずに聞き出すようにすること」「医療用語は知識ではなく使えるようにすること」などです。現場の雰囲気大切に、出身地である日南市の地域医療についても知識を深め、さらに成長できるようにしたいです。



現代ビジネス科2年
橋口 奈々花

企業実習を終えて

私は、鉾脈社様で企業実習をさせていただきました。出版社で書籍や雑誌が出来上がるまでの取材、編集、制作、製造、販売といった一連の流れを体験することができ、とても勉強になりました。それだけでなく、仕事というものは自分ひとりのものではなく多くの人が関わる連鎖的なものだということが強く印象に残りました。自分の前や後ろの工程で仕事をしている人のことや、最終的な仕事の完成形を意識することが大切だということ、自分が今行っている仕事だけでなく、他の人が行っている仕事にも目を向けられるようになることで余裕が生まれることを、5日間の実習の間の節々で感じました。今回の企業実習で学んだこと、考えたことを今後の学校生活に生かし、周囲にも常に気を配れる人間になりたいです。



現代ビジネス科1年
児玉 りの

初めての介護実習で学んだのは“話しかけられるような存在”になること

実習初日の私は、積極的に話しかけなければと意気込んでいました。ゆったりと静かな時間が流れる高齢者施設で、まず指導者から出された課題は施設内を周り利用者を観察することでした。目の合う人やうつむき加減の人に挨拶をし、様々な高齢者がいることに気づきました。その後の説明で、障害の種類を理解することと利用者から話しかけられるような存在にならなければならないということを知りました。次第に会話を楽しめるようになり、一緒に活動したことにお礼を言われるととても嬉しい気持ちになりました。5日間の実習は毎日が新鮮で、多くの経験をしました。その反面、もっと認知症への知識があったらと思う場面や話が上手だったらという場面が沢山ありました。今後も、授業や実習に丁寧に取り組み国家試験合格を目指します。



専攻科(福祉専攻)
衛藤 早希

現代ビジネス科

専攻科(福祉専攻)

教員からのご挨拶

一歩ずつ前へ

保育科では令和6年度4月より保育科3年制課程がスタートしました。2年間の学びを3年間かけて、ゆっくり学ぶことのできる長期履修生です。本年度は43名の3年制課程の学生を迎えています。2年制課程の学生も3年制課程の学生も、それぞれの学びのスタイルで、保育の学びを深め専門性を高め、自分らしい未来への道を切り拓いて欲しいと願っています。また、令和7年度には保育の学びに加えてビジネススキルも習得できるキッズビジネスコースがスタートする予定です。多様に変化していく社会の中にあり、特に大切である乳幼児期の子どもの育ちを支える「保育」の魅力を発信し続け、数々の先人たちが学び、バトンを繋いできたこの忍ヶ丘で、本学保育科がより充実したものへと一歩ずつ前進していけるよう教員一同で取り組んでいきたいと思っています。



保育科長
後藤 祐子

着実に実践力を身につける「現代ビジネス科」です

本年度も多くの学生を迎え、順調に動き出しました。「実践ビジネスコース」「メディカル秘書コース」「司書・メディアコミュニケーションコース」「大学編入コース」の4コースともに、意欲的に頑張っています。日々の学習活動、資格取得のみならず、産学連携活動や公的なイベント企画への協力などにも積極的に取り組んでいます。1年生では、社会人としての先輩方をお招きして、講演会や学内企業説明会などの学内行事を実施しました。どの学生も、目を輝かせて聞き入っており、社会人になるための一歩を踏み出せた実感しています。2年生は、身に着けた基礎力を発揮し、順調に結果を出しています。昨年に続き、難関の企業総合職、公務員、国立・公立病院等に内定をいただいております。今後も、現代ビジネス科の教育の質向上を更に図って参ります。



現代ビジネス科長
黒野 伸子

介護実践力は一生の財

「保育士」資格があることを入学条件とする福祉専攻は、1年間で「介護福祉士」の資格取得を目指しています。介護福祉教育で大事にしていることのひとつに、人間育成があります。他者理解や尊厳への配慮は、身を任す利用者にとって信頼や安心に繋がります。専門性を学び突き進む先に1月の国家試験があります。厚生労働省によると、養成校ルートのうち受験者数10名以上の施設は全国244校で、25名が受験し100%合格した本学の総合評価は全国5位層のランキングでした。誇らしく嬉しい限りです。(※2023年度全受験者数74,595人/合格率82.8%)実習での学びをまとめた2月の修了研究発表会では、数々の課題を乗り越えてきた頼もしさを感じさせてくれます。介護実践力は一生の財産です。皆で過ごした濃厚な時間と併せて、必ずこれからの人生を支えてくれることと思います。

※第36回介護福祉士国家試験養成施設別合格率



専攻科(福祉専攻)主任
桑迫 信子

新任教員紹介



現代ビジネス科
伊賀 彩子

主に情報科目を担当しています。情報教育は、単にPC操作技術を身につけることに留まりません。技術を活用し、問題解決や創造性にどう結び付けるかが重要です。データ分析や問題解決シミュレーションを通じて、現実の課題を解決する力を育てたいと考えています。学生の無限の可能性を引き出せるよう、実践的な教育に注力して参ります。



現代ビジネス科
長尾 清美

現代ビジネス科の長尾と申します。高校を卒業して株式会社ダイエーに入社しました(九州では「ユニードダイエー」だったころです)。「マーケティングや商業について学びたい」と思い、ダイエーを3年勤務後退職し、それから大学、大学院で学びました。主な担当科目は、マーケティング、販売学総論、経営学、ビジネス実務総論、基礎経済です。どうぞ、よろしくお願いたします。



現代ビジネス科
川越 勇二

現代ビジネス科の川越勇二です。もとは県立高校の教員で、初任の頃ご指導いただいたのが、山下忍先生。これもご縁だなと思っています。勤めて感じるのは、純朴な学生が多いこと、先生方が懇切丁寧に指導をされていること。「礼節・勤労」という言葉が、飾りではなく、確かに息づいている大学であることを実感しています。